

平成28年8月17日

東京大学大気海洋研究所
所長 津田 敦

教員の公募について

このたび、当研究所では下記の要領で教員を公募します。

記

1. 採用人員 附属国際沿岸海洋研究センター 特任助教 1名
2. 任期 5年（但し、審査を経て1回に限り5年以内で再任されることがあります）
3. 採用予定時期 平成29年1月1日以降のなるべく早い時期

4. 公募の趣旨

当センター（岩手県大槌町）は、国際的な視点から沿岸海洋環境や生態系の理解および環境保全等に関する研究を進めています。平成23年3月に発生した東日本大震災によって研究施設は壊滅的被害を受けましたが、震災直後から徐々に施設と機能の仮復旧を進め、平成24年4月には新たに生物資源再生分野を設置して、地震と津波が海洋生態系や海洋環境に及ぼした影響とその再生過程の解明を目的とした研究を主導的に展開しています。平成29年度末までには、同じ大槌町内に研究棟を再建し、これまで以上に国際的研究拠点としての機能を充実させる予定です。

本公募では、大槌湾および三陸沿岸域におけるフィールド調査を主体とし、沿岸域の生物群集・個体群の動態、生物多様性の形成・維持機構などについて、流動環境や物質循環など海洋環境との関連に着目した研究を推進する研究者を求めます。また、センターの再建や再建後の様々な活動に中心的に参画し、共同利用・共同研究拠点としてのセンターの復旧・発展を通じて、三陸地域の復興に貢献する高い意欲のある方を希望します。大学院教育にも積極的に係わっていただきます。

5. 勤務地 国際沿岸海洋研究センター（岩手県大槌町）

当センターの教員の多くは、震災後には東京大学柏キャンパス（千葉県柏市）を本務地とし、自身の研究や共同利用・共同研究の状況に応じて、大槌に滞在して研究・業務を行ってまいりましたが、センターの復旧状況等に鑑み、すでに一部の教員は本務地を大槌としています。新研究棟完成後には、兼務教員を除く当センター所属の全教職員が大槌町のセンターを本務地としますが、本公募採用者には着任時より大槌町の現センターを本務地としていただく予定です。

6. 提出書類

- 1) 履歴書（東京大学統一様式（http://www.u-tokyo.ac.jp/per01/r01_j.html）による。写真貼付）
- 2) 研究業績目録（原著論文、総説、その他に分けて査読の有無を明記すること。わかるもの

について、被引用回数と Web of Science 等の使用したデータベース名を付記すること。)

- 3) 主要論文3編の別刷(またはコピー)各1部
- 4) これまでに行ってきた研究の概要(1000字程度)
- 5) 今後の研究とセンターの活動および三陸復興に対する抱負(1000字程度)
- 6) これまでに獲得した外部資金の名称と額、所属学会、学会等における活動実績、その他参考になる事項
- 7) 応募者について参考意見を述べることのできる人(2名)の氏名および連絡先

7. 応募書類提出期限 平成28年10月14日(金) 17時 必着

8. 選考方法 書類選考の後、少数名を対象として面接を行います。

9. 提出書類送付先

〒277-8564 千葉県柏市柏の葉5-1-5 東京大学大気海洋研究所 所長 津田 敦 宛

(封筒に「国際沿岸海洋研究センター助教応募書類在中」と朱書きし、簡易書留等で送付してください。応募書類は本公募の選考に係る作業の目的以外には使用しません。なお、特に要望がない限り、応募書類は選考後も返却いたしません)

10. 国際沿岸海洋研究センターの教員構成(平成28年8月17日現在)

【分野】	【教授】	【准教授】	【助教】
沿岸生態	道田 豊(兼務)	田中 潔 西部裕一郎(特任)	白井厚太郎
沿岸保全	青山 潤 佐藤克文(兼務)	福田秀樹	本公募(特任)
生物資源再生	河村知彦(センター長)	北川貴士	早川 淳 広瀬雅人(特任)

11. 「東京大学男女共同参画加速のための宣言」に基づき、女性の応募を歓迎します。

12. 問い合わせ先

〒277-8564 千葉県柏市柏の葉 5-1-5

東京大学大気海洋研究所附属国際沿岸海洋研究センター・教授(センター長) 河村知彦

TEL. 04-7136-6410 e-mail : kawamura@aori.u-tokyo.ac.jp (◎を@に変えて送信して下さい)